

# 女性チャレンジ応援拠点だより 2021 12月

## 〇●〇 コラム【ウェルカムな気持ちで迎えよう！新年】〇●〇

2021年も師走になりました。御堂筋のイルミネーションが年末ムードを盛り上げます。公私ともに慌ただしくなり、気も急きますが、そんな時ほど、“落ち着いて、ゆっくり、丁寧に”と自分に声をかけ、ゆく年を送り、くる年の機運を盛り上げたいものです。そこで2021年12月の『チャレンジする人のニューノーマル』は、

**「〈抽象的な業務〉にたえる学びを！」**です。



来年は実質、ポストコロナ元年、「新しい常態」の常態化を探りながら、コロナ前とは違う世界が作られていきます。9月23日付日本経済新聞「Analysis」欄には、「ポストコロナの雇用」がテーマになっていました。「非定型的で企画・分析・対話型の抽象的なタスク（業務）」をこなせる人材が今後求められ、「学び直し」が必須と説いていました。ちなみに、「抽象」の反対は「具体・具象」です。抽象的な業務は標準化やパターン化が難しい業務です。独自の視点や観察から新しい着想や解釈をして、問題の解決や新しい意義を生み出す、そういう業務とっていいと思いますが、それ自体はこれまでも変わりなく重要でした。変わったのは、それ以外の標準化やパターン化できる業務の多くが限りなく人工知能で代替できるようになる、人間がしなくても機械ができるようになるという点です。これまでも抽象的な業務に馴染んできた人は、さらに〈腕に磨きをかける〉ように学びを深めていきましょう。

一方、あまり馴染みのなかったという人は、これからアプローチしていけばいいのですね。まずは抽象的な概念に頭を馴染ませたいところです。「読書」を見直すことから始めるのはいかがでしょう。「わかりやすい」ものは当面スルーして、〈頭をひねる〉本にトライするのです。どんな本がいいか選べないという人は、読書家の読書歴を参考にするのも良い方法です。例えば、先日解散した「V6」の「岡田准一」は読書家で有名ですが、雑誌のインタビューで、読んだ本を紹介していました。ご参考まで、『木のいのち 木のこころ』（草思社）、『星野富弘全詩集〈1〉花と花と』（学習研究社）、『カーネギー人生論』（創元社）、他です。ファンでなくても、〈自分の軸〉を持った人という印象がありますが、その土台を自分でつくってきた人なんだなあと感じます。

この「たより」をご覧になるみなさんは、何かしら独自のテーマをもって、新しいことにチャレンジしよう、あるいはすでにされていますね。それ自体が〈抽象的な業務〉。今からチャレンジする人も、すでにした人も、ずっと、抽象度の高いテーマに臨んでいくこととなります。新年を前に、自身の「学び」刷新を試みてはどうでしょう。読書の仕方を見なおす、仕事ごとの〈検証〉を充実させる、自分より経験豊富な〈スーパーバイザー〉を持つ、等々。最後のその「等々」が自分では見つけられないという方は、お時間が許せば、ぜひ「女性チャレンジ応援拠点」をお訪ねください。ゆっくりお話をうかがい一緒に考え、みなさんそれぞれにふさわしいやり方をお伝えできるはずです。みなさまのご利用をお待ちしております。

## 〇●〇●〇 感染対策をして開室しています〇●〇●〇

同時入室6名までとして通常通り開室しています。初めての方も、お久しぶりの方も、お気軽にお越しください。

## 女性チャレンジ応援拠点

場所：大阪市天王寺区上汐 5-6-25 クレオ大阪中央 4階  
電話&ファックス：06-7659-9640  
メール：women-kyoten@danjo.osaka.jp  
運営：大阪市立男女共同参画センター中央館

### 🌸 開室日

※日・月曜日、祝日、祝休日の翌日は休業

火	水	木	金	土
10:30 ? 12:30	18:00 ? 20:00	13:00 ? 15:00	10:30 ? 12:30	13:00 ? 15:00

🌸 開室時間内は自由に出入りいただけます。  
お気軽にお立ち寄りください。

